



学校評価アンケート調査結果 報告書

令和2年度



2021年1月27日

宮城県柴田農林高等学校

<目次>

令和2年度 学校評価アンケート実施概要	2 頁
I 集計結果および各部コメント	3 頁
II 過去3年間の比較グラフ	11 頁



令和2年度 学校評価アンケート実施概要

1 目的

- (1) 教育活動の改善策を立てるために、高校教育課による「学校評価実施要項」に基づき、学校を総合的・客観的に評価する。
- (2) 本校自らが教育計画の達成度を点検し、その結果を明らかにすることで、保護者及び地域住民の方々から理解され、支持される高校づくりを進める。

2 調査対象 及び 人数

教職員	55名	(校長・教頭・主幹教諭・教諭・養護教諭・実習教諭・実習講師・実習助手・講師(養護担当を含む)・事務室長・事務次長・主任主査・主事(学校司書含む))
生徒数	397名	(8月18日 ※夏休み終了時点の在籍数)
保護者	383名	(PTA 保護者会員数)
地域住民	28名	(大河原駅長 および 上川原地区各区長 ※郵送)
本校学校評議員	6名	
合計	869名	

3 期 日 令和2年 10月26日(月)～11月 6日(金)

4 回収数・回収率

① 生徒	354名	(89. 2%)
② 保護者	190名	(49. 6%)
③ 無作為に抽出した地域住民	16名	(57. 1%)
④ 教職員(非常勤講師は含まず)	52名	(94. 5%)
⑤ 学校評議員	4名	(66. 7%)

5 質問事項 3～8ページのとおり

6 結果のまとめ(結果の集計方法)

回答のうち、1(よく当てはまる) 2(だいたい当てはまる) を、質問の通りだと感じていると評価し、3(あまり当てはまらない)、4(当てはまらない)を質問のとおりではないと評価して、人数と全回答者からの割合をまとめたものである。分析結果は9ページ以降のとおり。



I

集計結果

および

各部コメント

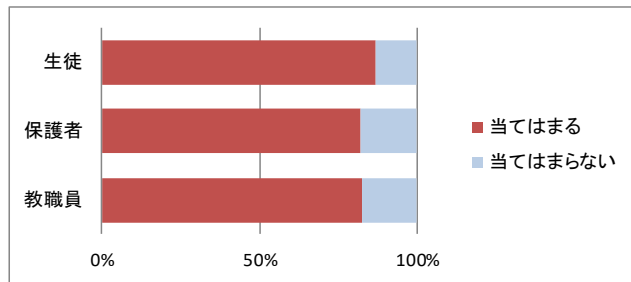


令和2年度 学校評価アンケート 【生徒・保護者・教職員】

設問1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている。

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	87.0%	13.0%
保護者	81.9%	18.1%
教職員	82.7%	17.3%



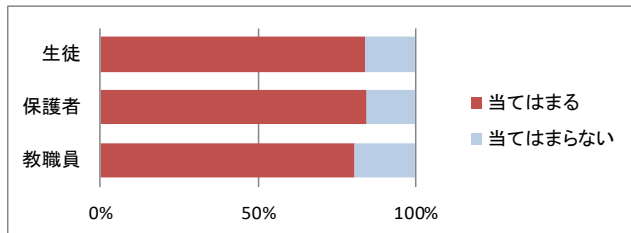
(コメント)

生徒回答データがR1年度は78%であったが、R2年度は87%であった。新型コロナウイルス感染症により授業再開が2ヶ月遅れたことにより、心理的な不安から授業に対する要求度が高まったのではと推測した。また、教職員は昨年度より5.8%ダウンした。前記で述べた新型コロナウイルス感染症防止対策により授業が出来なかったことが原因となったのではと推測する。いずれにせよ魅力ある授業を目指して研究授業や互見授業の充実を図り、授業評価アンケートとあわせて授業改善に役立てたい。

設問2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	84.1%	15.9%
保護者	84.5%	15.5%
教職員	80.8%	19.2%



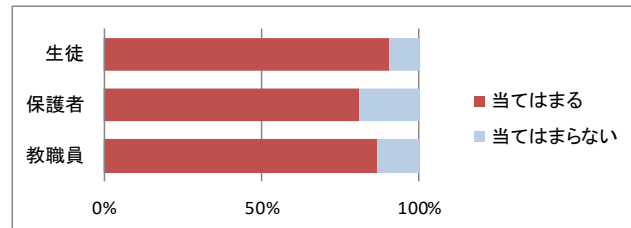
(コメント)

校内で挨拶をする生徒は多いが、逆に挨拶ができない生徒が目立ち始めているように思われる。また、遅刻生徒は相変わらず多く、保護者と連携し、生活習慣の改善に取り組まなければならないと思う。

設問3 進路指導目標をはっきりさせるための適切な指導が行われている。

(進路指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	90.4%	9.6%
保護者	80.9%	19.1%
教職員	86.5%	13.5%



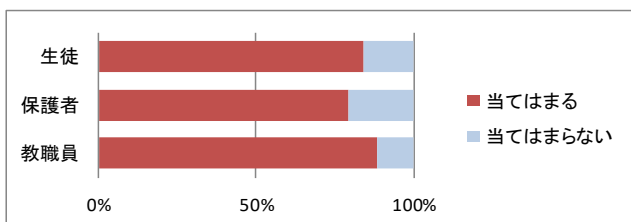
(コメント)

保護者への伝え方を今後再検討していきたい。

設問4 教員やカウンセラーが相談に応じた対応ができています。

(保健相談部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	84.2%	15.8%
保護者	79.4%	20.6%
教職員	88.5%	11.5%



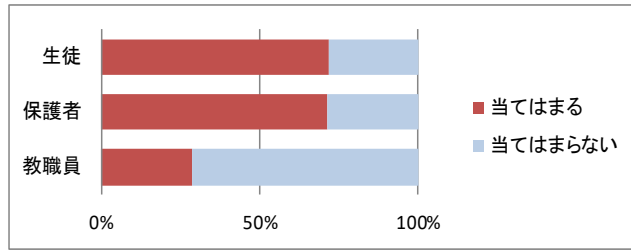
(コメント)

概ね例年通りの結果である。今後もSC、SSWと連携して生徒や保護者の相談に対応していきたい。また、保護者に少しでも教育相談への理解を深めてもらえるよう、カウンセリング便りを通じて継続的な情報提供を続けていきたい。

設問5 柴田農林高校の部活動は活発に行われている。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	71.7%	28.3%
保護者	71.4%	28.6%
教職員	28.8%	71.2%



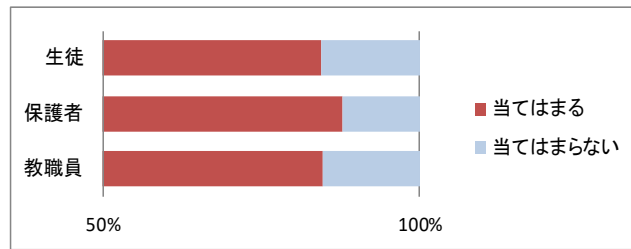
(コメント)

部活動加入率が全体的に低く、不活発に見えるが、加入している生徒は部員数が少なくても活発に活動をしていることが数値の差となった現れているのでは無いか。部活動を活発に行うことは顧問の指導次第ではないか。(今年度の部活動加入率48.2%)

設問6 柴田農林高校の生徒会活動・農業クラブ活動は活発に行われている。

(生徒指導部・農場部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	84.5%	15.5%
保護者	87.8%	12.2%
教職員	84.6%	15.4%



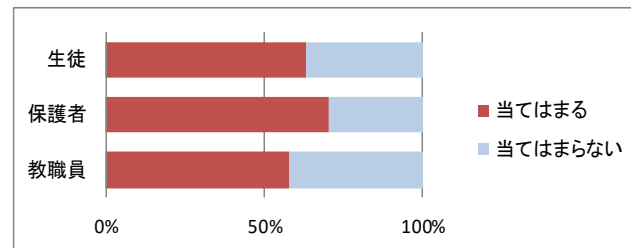
(コメント・生徒部) 近年は生徒会役員を中心に専門委員会も含め生徒主体で活動できるようになってきたが、今年度はコロナ禍の中活動が停滞した。活動実績や活動内容を生徒会誌等で校外外にアピールすることも必要である。

(コメント・農場部) 農業クラブ全国大会が中止となったこともあり、目標設定が難しい中での活動が中心となった。今年度の校内大会は各種目なんとか開催できている。次年度は農ク東北大会運営を控えているので、校内活動において、できる限りの組織強化を図っていく必要がある。

設問7 柴田農林高校の学校行事は楽しく充実している。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	63.0%	37.0%
保護者	70.2%	29.8%
教職員	57.7%	42.3%



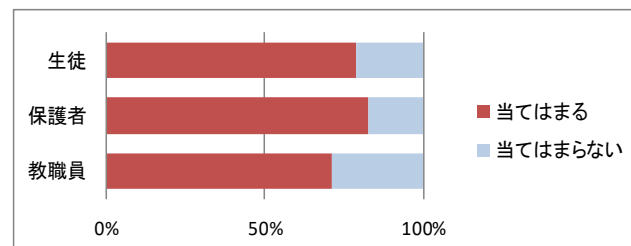
(コメント)

昨年度との比較で、生徒約80%→約63%、保護者約92%→約72%、教職員約97%→約58%と、いずれも大きくダウンしている。今年度は、コロナ禍で臨時休校の期間が長引き、文化祭や校内球技大会なども中止になるなど、学校行事の実施には大きな制約があった。その影響が表れていると思われる。

設問8 柴田農林高校は、学校として特色ある学校づくりに取り組んでいる。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	78.8%	21.2%
保護者	82.5%	17.5%
教職員	71.2%	28.8%



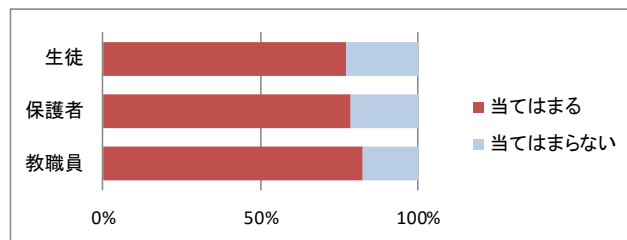
(コメント)

生徒と保護者の評価は例年とほぼ同じ傾向だったが、教職員の評価が約87%→約71%と大きく低下している。コロナ禍でいろいろな教育活動が制限され、教職員の取り組みもいろいろな制約を受けていることが影響しているのではないだろうか。

設問9 生徒に対して災害時・非常時の避難方法や連絡方法が伝えられている。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	77.1%	22.9%
保護者	78.8%	21.2%
教職員	82.7%	17.3%



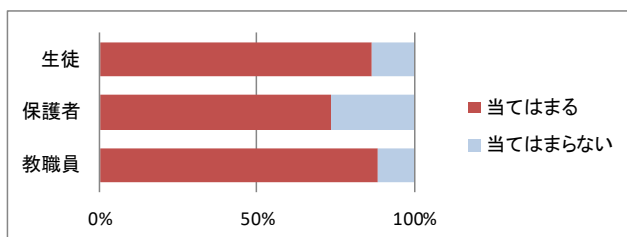
(コメント)

昨年度と比較して、生徒の評価が10ポイントほど低下している。保護者や教職員の評価はわずかながら上昇している。今年度はコロナ禍の影響もあり、全校生徒そろっての防災訓練を実施することができず、春は紙面上の訓練、秋は学年ごとに避難訓練を行うという変則的な形だったので、生徒には伝わっていない部分があるかもしれない。メールによる安否確認訓練を行ったので、保護者には伝わったかもしれない。

設問10 保護者に対して、学校だよりなどによって学校の情報が適切に伝えられている。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	86.7%	13.3%
保護者	73.5%	26.5%
教職員	88.5%	11.5%



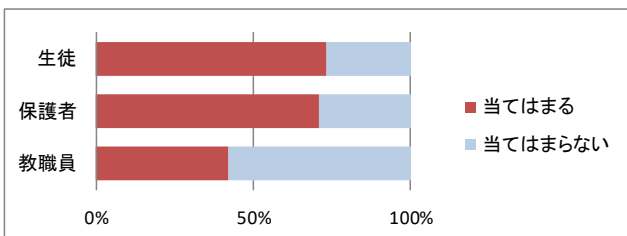
(コメント)

昨年度と比較して、生徒の評価は5ポイント、保護者の評価は10ポイント低下しているが、教職員の評価は6ポイントほど上昇している。学校だよりは昨年度よりも内容が充実していると思われるが、生徒の手を通じて保護者にわたっている確率が低いのではないかと。Webサイトとの連携など広報の方法を検討しても良いかもしれない。

設問11 柴田農林高校の校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	73.2%	26.8%
保護者	70.9%	29.1%
教職員	42.3%	57.7%



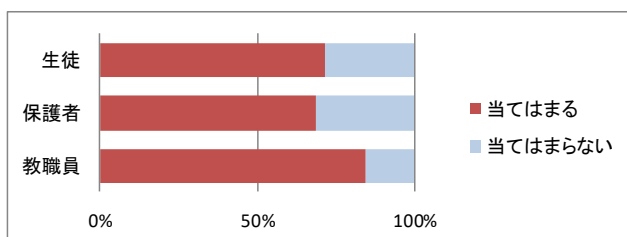
(コメント)

昨年度と比較して、生徒と保護者の評価は若干上昇、教職員の評価が8ポイントほど低下している。今年度は南校舎やビニールハウス群の解体工事が行われるなど、学校敷地の使用に制限が加わり、不便な思いをしたので、教職員の評価が下がっているのではないかと。

設問12 柴田農林高校は日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	71.4%	28.6%
保護者	68.6%	31.4%
教職員	84.6%	15.4%



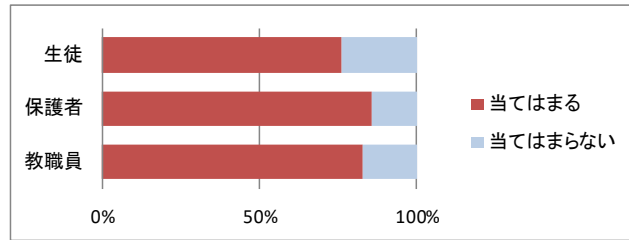
(コメント)

定期的なアンケートで情報収集をしている。問題が大きくなる前に担任、学年、保健相談部の段階で素早い対応が取れている。感謝いたします。生徒・保護者にとっては「いじめ」も「いじり」も同じなので、見えないところではまだまだ多いといえる。今後もアンテナを高くし、全職員で情報を共有し、取り組んでいきたい。

設問13 [自分にとって／私の子供の／生徒の]学校生活は充実している。

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	76.0%	24.0%
保護者	85.6%	14.4%
教職員	82.7%	17.3%



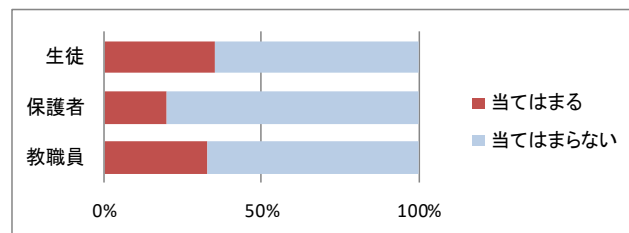
(コメント)

昨年度と比較して、生徒の評価が3ポイントほど上昇しているほかは、ほぼ同じくらいの結果になった。コロナ禍にもかかわらず、生徒の評価が上昇したということは、朗報ではないだろうか。

設問14 柴田農林高校は宿題・課題が多い。(生徒・保護者)
生徒に宿題・課題が多く出されている。(教職員)

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	35.3%	64.7%
保護者	19.8%	80.2%
教職員	32.7%	67.3%



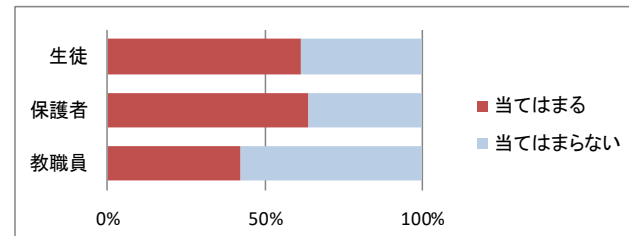
(コメント)

R1年度は生徒27.8%、保護者16.5%、教職員20.7%と僅かであるが三者間ともにアップとなった。考えられる要因として新型コロナウイルス感染症対策により自宅待機期間中の各教科の課題が予想以上に多く出題され、そのことが根底にあるのではと推測される。宿題・課題は設問1で問われている魅力的な学力に繋がる授業と深く関わってくると思うので、各教科・科目でも魅力的な授業作りの一環として考えていきたい。

設問15 [私は／私の子供は]テスト前に[1日1時間以上]勉強している。(生徒・保護者)
生徒はテスト前、熱心に勉強している。(教職員)

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	61.6%	38.4%
保護者	63.7%	36.3%
教職員	42.3%	57.7%



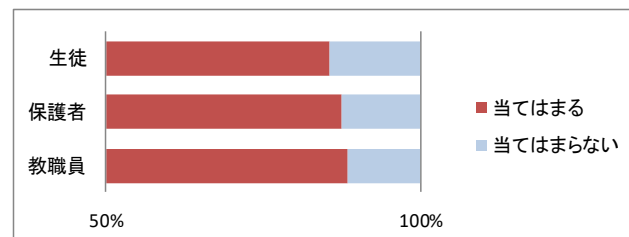
(コメント)

R1年度は生徒54.2%、保護者58.9%、教職員28.8%と三者間ともにアップとなった。特に教職員は13.5%もアップした。前記でも述べたように新型コロナウイルス感染症による自宅待機期間中の課題学習が大きく影響していると思われる。ただし定期考査の結果と相関関係となっているとは言いがたい面もある。

設問16 私は柴田農林高校の校則を[守っている(生徒)／知っている(保護者・教職員)]。

(生徒指導部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	85.6%	14.4%
保護者	87.4%	12.6%
教職員	88.5%	11.5%



(コメント)

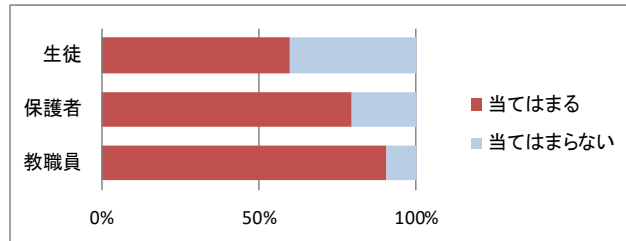
概ね良好であるが、年度が進むにつれ問題行動が微増している傾向である。年度はじめの休業が影響しているのではないかと。服装の乱れからただし、気を緩めずに指導していきたい。

設問17 私は柴田農林高校の卒業生の進学先・就職先について

(進路指導部)

{よく知っている(生徒)/十分な情報提供を受けている(保護者)/十分な情報提供をしている(教職員)}。

	当てはまる	当てはまらない
生徒	59.9%	40.1%
保護者	79.8%	20.2%
教職員	90.4%	9.6%



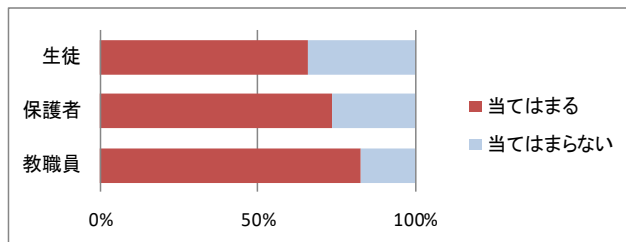
(コメント)

生徒・保護者に対するの情報提供のアプローチの仕方を検討していきたい。

**設問18 [私の/私の子供の]クラスはまとまりのある良いクラスである。(生徒・保護者)
柴田農林高校の学級経営はスムーズに行われている。(教職員)**

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	65.8%	34.2%
保護者	73.5%	26.5%
教職員	82.7%	17.3%



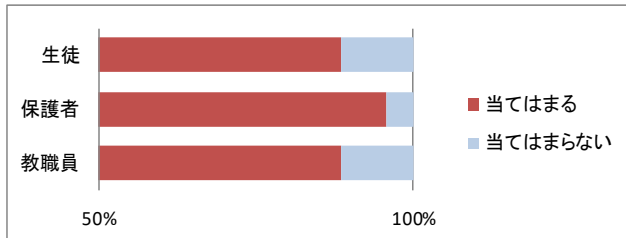
(コメント)

昨年度と比較して、生徒の評価が約7ポイント上昇、その他は同じくらいである。各クラス担任の地道な努力と、学年主任のリーダーシップが少しずつ生徒にも理解されてきていると思われる。ここに、生徒による自主的で積極的なクラス経営への参加が見られれば、上昇傾向が強まるのではないか。

設問19 柴田農林高校の農業教科の内容は充実している。

(教務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	88.4%	11.6%
保護者	95.8%	4.2%
教職員	88.5%	11.5%



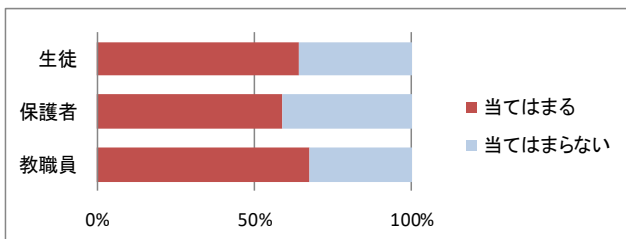
(コメント)

教科農業として昨年度と同様に引き続き、良い評価を受けていると考える。保護者、地域の方々にこれからも情報発信を行い生徒が達成感を味わえる授業内容を考えていきたい。

**設問20 柴田農林高校の校訓を知っている。(生徒・保護者)
生徒等に柴田農林高校の校訓の周知を図っている。(教職員)**

(総務部)

	当てはまる	当てはまらない
生徒	64.4%	35.6%
保護者	58.7%	41.3%
教職員	67.3%	32.7%



(コメント)

昨年度同様の評価である。校訓を各クラスに掲示して、生徒は常に目にするようになってはいるが、浸透度は低いようである。さらなる工夫が必要と思われる。

令和2年度 学校評価アンケート 集計結果 (地域住民)

設問1 柴田農林高校の生徒は、実習に熱心に取り組んでいる。



(コメント)

昨年度と比較して10ポイント近く低下している。地域住民の皆さんは、実習場の近くを日ごろから通るので、生徒の取り組む姿勢を客観的に評価できる立場にある。その評価が低下しているということ、我々は厳しく受け止めなければならない。

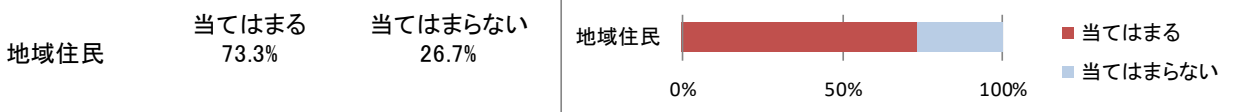
設問2 柴田農林高校の教職員は地域住民への対応が丁寧で良い。



(コメント)

昨年度は好意的な評価が100%だった。それに比べると大きく低下している。教職員の態度も、反省しなければならない。

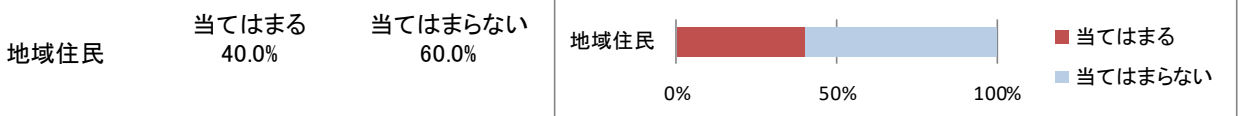
設問3 柴田農林高校の生徒は地域で良い評価を受けている。



(コメント)

この項目も、昨年度比20ポイントの低下である。登下校時の態度や、農産物販売時の態度などが厳しく評価されているものと思われる。生徒の生活改善につなげたい。

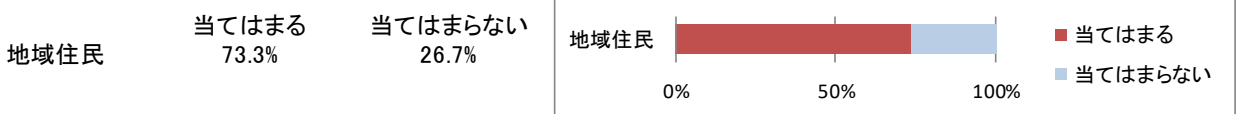
設問4 柴田農林高校の生徒達は、挨拶をするなどマナーがよい。



(コメント)

この項目は昨年度比50ポイントの低下である。かなり厳しい評価だといえる。この結果を素直に受け止め、生徒の生活態度改善につなげるように、指導に生かしていきたい。

設問5 私は柴田農林高校の制服に好感が持てる。

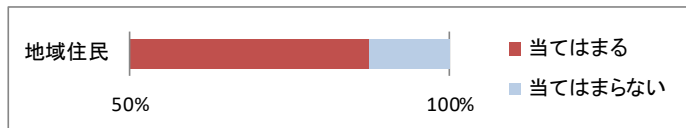


(コメント)

この項目は昨年度比17ポイントの低下で、厳しい評価だと思われる。デザインは良いと思われるが、生徒の着こなしの悪さが、評価を下げていると思う。生徒指導に生かしていかなければならない。

設問6 柴田農林高校の販売実習は、地域住民に好評である。

地域住民 当てはまる 87.5% 当てはまらない 12.5%

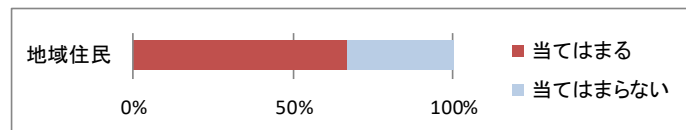


(コメント)

この項目は昨年度比約13ポイントの低下であった。いろいろと工夫して実施している販売実習だが、より良いものを目指して工夫を重ねていかなければならない。

設問7 柴田農林高校の部活動は活発である。

地域住民 当てはまる 66.7% 当てはまらない 33.3%

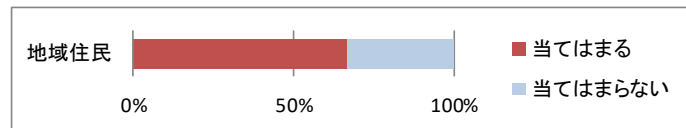


(コメント)

この項目は昨年度比約30ポイント低下であった。部活動に加入する生徒が少なくて、放課後になると早く帰宅する生徒が多い実態を地域住民の方々は良く知っている。

設問8 柴田農林高校は地域に開かれた学校で地域の教育活動にも協力している。

地域住民 当てはまる 66.7% 当てはまらない 33.3%

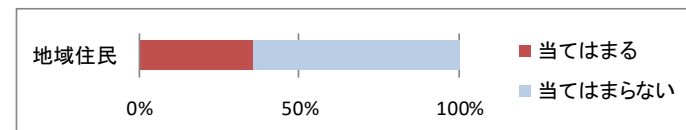


(コメント)

昨年度比約23ポイント低下である。小学生や幼稚園・保育園などと協力して芋ほり体験などを実施しているが、それだけでは足りないようである。今年度は、コロナ禍の影響で苗販売を行わなかったことも影響していると思われる。

設問9 私は、柴田農林高校ホームページその他の広報活動を知っている。

地域住民 当てはまる 35.7% 当てはまらない 64.3%

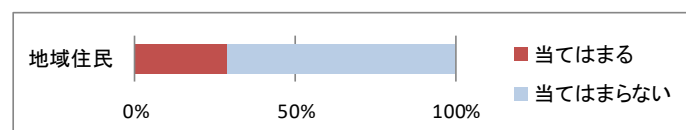


(コメント)

昨年度比35ポイント低下。広報活動については、さらなる工夫が必要と思われる。

設問10 私は、機会があれば柴田農林高校の授業の様子をみてみたい。

地域住民 当てはまる 28.6% 当てはまらない 71.4%



(コメント)

昨年度比約50ポイント低下。新設校ができることが、解体工事が始まったことによって地域住民にも知れ渡ることになり、柴田農林高校に対する期待は全体的に薄れてきているとも考えられる。

Ⅱ

過去3年間の比較グラフ

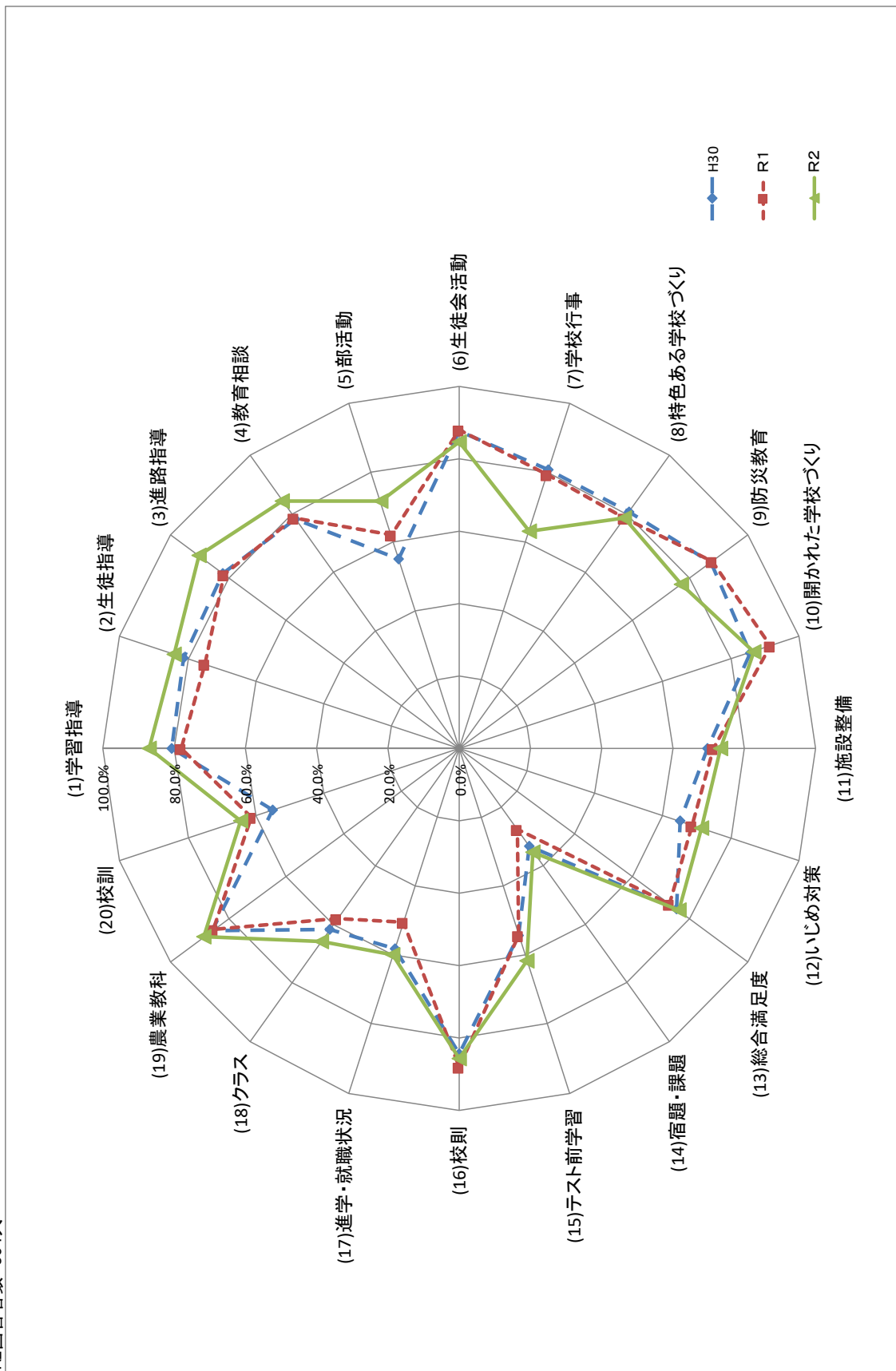
(生徒・保護者・教職員)



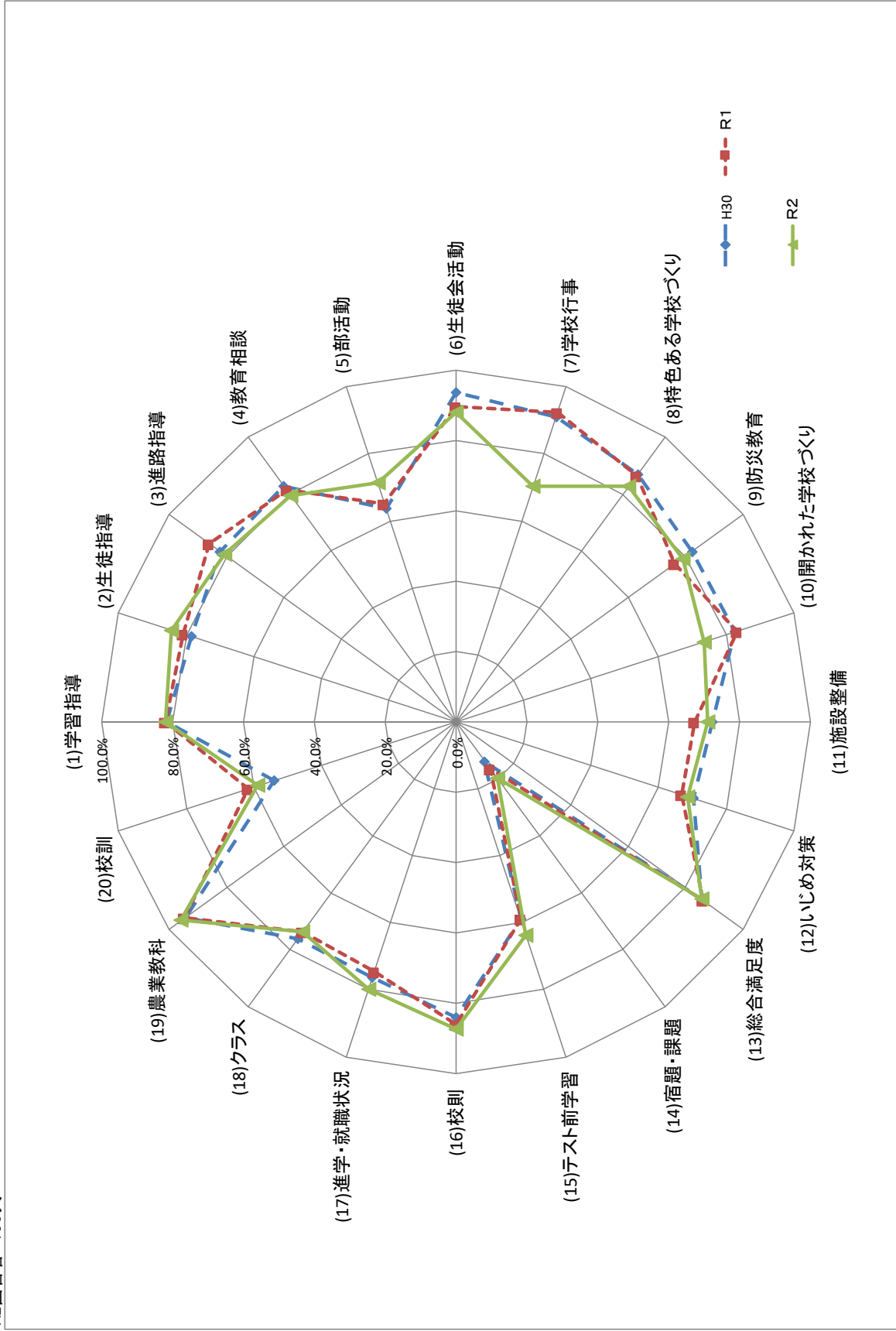
「よく当てはまる」と「だいたい当てはまる」の割合の合計比較

＜生徒＞

H30回答者数 419人
 R1回答者数 264人
 R2回答者数 354人



<保護者> H30回答者数 411人
 R1回答者 244人
 R2回答者 190人



<教職員> H30 回答者数 56人
 R1回答者 61人
 R2回答者 52人

